
































【AADC-0256 (pancreas)】

■スケジュール 3週で1サイクル 22日目が次のクール day1

NAC-GS (ゲムシタピンの点滴とエスワン内服を用いた療法です) 術前に2コース行う

ゲムシタピンの点滴は1日目と8日目。エスワンは点滴日の夕食後から、2週間服用して1週間休薬します。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
注																						
朝																休薬						
夕															休薬							

- 副作用情報 (Randomized phase II/III trial of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine and S-1 versus upfront surgery for resectable pancreatic cancer (Prep-02/JSAP-05))
 - ・グレード 3/4 の有害事象は、白血球減少症および好中球減少症 (72.8%)

- 支持療法: **基本的に処方なし**。状態に応じて必要時処方することがございますので、ご承知おきください。

■服薬指導のポイント

●下痢

エスワン起因の下痢が起きる可能性がある。下痢のうえ、**発熱・口内炎を伴うような場合は病院に連絡する。**

下痢時の具体的なアドバイスとしては

下痢により水分だけでなく、体に必要な電解質もでていってしまい、例えば低カリウムを起こすことがある。

脱水回避のために水分摂取をしていただくが、その際は

電解質を含んだ飲料水を排泄のたびコップ1杯以上とり、水だけお茶だけといった水分の摂り方はしない。

カリウムの多い食品としてはバナナなどがある。

食事の一回量を減らし、回数を増やす。

食事量が多いほど、胃結腸反射が起き

下痢を誘発しやすいので、

回数を多く取る方法に切り替える。



下痢時、避けたほうがよい食品としては、カフェイン、アルコール、炭酸飲料、ナッツ類 (ナッツは非常に油分を多く含んでいる。多すぎる油分が腸に入ると、水分と油分が分離してしまい下痢を誘発する)、全粒粉食品、ふすま製品、揚げ物を含む高脂肪食品などは、消化器系に刺激を与える可能性があるため、摂取を控える。食事の温度も重要。非常に熱かったり、また冷たかったりする食べ物は、下痢の要因となる。

●流涙

エスワンにおける流涙は、角膜障害による涙液分泌亢進や涙道障害による涙液排出低下がその原因として疑われます。当院ではエスワン開始にあたり、眼科との連携をとっている。

眼科医の対応のひとつのとして、防腐剤を含まない人工涙液により

Wash out を行うことを指導しており、

市販薬「ウエルウォッシュアイ」か「ソフトサンティア」を

購入する患者さんがいるかもしれませんが、その際は点眼方法のご指導をお願いいたします。



●悪心嘔吐、食欲不振

嘔吐してしまうケースは少ないが、なんとなく食べたくないという方がいる。服用していくうちに慣れて来る方が多いが、エスワン休薬中はやっぱり楽とおっしゃる患者さんもいる。ゲムシタピンによるところもあるので点滴日から翌日ぐらい特に辛いようであれば、次回受診時医師に伝えるようご指導ください。

食欲がないときのアドバイスとしては無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べることで、揚げ物・煮物・煮魚や焼き魚など避けることで、嘔気を軽減することもある。栄養補助食品など利用し、少量でもカロリーや栄養素を補うといった対策もある。

【比較的 食べやすい食品の例】

卵豆腐、茶碗蒸し、ゼリー、プリン、お粥、煮込みうどん、雑炊、野菜のスープ煮、ビスケット等

●皮膚症状

首筋や手足、背中、頭など身体の一部、あるいは全身の皮膚に発疹（赤いブツブツ）や紅斑（赤い斑点）を引き起こすことがあります。

見た目にも明らかなことから患者さんの不安にもつな갑니다。

かゆみを伴うこともあり、精神的にも身体的にも患者さんにとって不快な症状のひとつといえます。

当院事例では お腹のズボンのベルトをしめるあたりを中心に皮膚が広がった事例がありました。

術前2コースで 頑張らなきゃと

患者さんのなかには、市販のムヒなどで痒みを

我慢しながらエスワンを服用する方もいるので、

がまんせず、病院に確認をとるようお伝えください。



●眠気

ゲムシタピン投与時における注意点として 眠気があります。

特に車の運転などなさっている方には、保険薬局への来店時 眠気がないかも確認いただけると助かります。

眠気のある場合は、駐車場などでお休みになってから帰るなどしていただくなどアドバイスをお願いします。

●口内炎

口内炎には薬の粘膜に対する直接的な障害と、薬による骨髓機能の抑制（骨髓抑制）に伴う局所感染によって生じる二次性障害の2つがあります。

抗がん剤の投与後、およそ5日目から10日ごろに口内炎が発生しやすくなります。

口内炎によって傷ができたところに細菌などが侵入して感染しやすくなります。

うがい等でお口の中を清潔に保つことが重要です。

相澤病院院内製剤のレバミピド含嗽水を使用している患者さんもいるかもしれません。

（病院で口内炎用のうがい薬をだしてもらっているという場合は

「茶色の瓶に入ったものですか？それなら使うたびよく振ってご使用下さい」とお伝え下さい）

<エスワンが食後投与である理由>

先発医薬品 TS-1 からの情報

基礎的検討（ラット）において空腹時に投与した場合、

フルオロウラシルのリン酸化抑制作用を持つオテラシルカリウムの吸収が増加し、ティーエスワンの抗腫瘍効果が減弱することが予想されることから食後投与となっています。

食事が全くとれない場合、治療効果や重篤な有害事象ふまえ エスワン服用について 病院に確認するようご指導ください。

<このレジメンの意義>

切除可能膀胱癌に対し、

ゲムシタピンとエスワンの併用療法による

術前化学療法（NAC-GS）を施行後に手術を行い、

エスワンによる術後補助化学療法を行う治療戦略は、

手術を先行して術後補助化学療法を行う標準的治療

よりも、全生存期間（OS）を有意に延長することが、

第 II/III 相のランダム化比較試験

Prep-02/JSAP-05 から示された。

